「サイエンスカフェ in 静岡」第 198 話（2026 年 10 月 29 日）

テーマ：「ジェンダー視点で災害を見れば...」

講　師：　池田　恵子　先生

（静岡大学グローバル共創科学部）

■ 参加人数　26 名

■ アンケート回答人数　21 名

■ ご職業

会社員：2	公務員：4	教員：1
自営業：0	主婦・主夫：3	
小学生：0	中学生：0	高校生・高専生：0
大学生・大学院生：0	その他：11	

■ 年齢

19 歳以下：0	20 歳代：0	30 歳代：1	40 歳代：0
50 歳代　：4	60 歳代：9	70 歳以上：7	不明：

■ ご住所

葵区　：8	駿河区：5	清水区：6	焼津市：2
藤枝市：0	島田市：0	富士市：0	浜松市：0
静岡県内その他：0	静岡県外：0		

■ この企画をどのようにお知りになりましたか。（複数回答有）

- 継続参加による周知：17
- 静大のサイエンスカフェホームページ：1
- サイエンスカフェのポスター（学校やバスで掲示されているもの）：3
- SNS を通じて（サイエンスカフェの Twitter を含む）：0
- 職場などの情報回覧：0　・知人の紹介：0　　・その他：0

■　講演内容についてのご意見やご感想・質問などをご自由にお書きください。

（　50 歳代　）

- 結局、「つなぐ」「つながる」にはどうするのがよいのでしょうか。
- 社会福祉士を目指して勉強中です。ジェンダー視点からみた災害を、福祉についていろいろ考えるきっかけになりました。多様な視点、つなぐことなど考えていきたいと思います。
- 地域防災の課題について勉強になりました。今後、理工学以外の講演も聞きたい。

（　60 歳代　）

- 避難所での女性の健康被害、男性の自殺孤独死の多さには驚かされた。毎年町内で防災訓練を行っているが、どんどん簡素化されている。自分事として、防災リーダーの養成講座等受ける機会があれば受けてみたい。
- 災害時について考える事の多さに、改めてため息のでる思いでした。
- 自治会で会計しています。小さな自治会なので防災委員は５人だけ。防災訓練は三役で行います。裾野を広げたいと思います。参考になりました。
- 防災に興味を持ち勉強している女性がいて、他県ともつながるネットワークまでできているのにも関わらず、自主防とつながっていないということを初めて知りました。何とかしないと能登と同じようになってしまうというのが一番びっくりしました。少しずつでも改善しなければいけないですね。自主防で DIG、HUG 等やって問題点を見つけることも大切ではないかと思います。
- 楽しく分かりやすい話をいつも楽しみにしています。
- 災害にあった場合、男女を問わず大変なことがいろいろあって考えさせられるのが多いです。男女別、年齢別に困っている事をもっと詳しく調べてほしい。
- ニュースなどで災害時の問題点を報道していて時々耳にしていましたが、断片的であり部分的だったなと思いました。防災関係の本を数冊読みましたが、今日のお話はその本に書いてないことが多く役に立ちました。
- 分かりやすい事例・構成、分かりやすくする工夫で多くの新たな知識を得られよく理解できました。時間配分もすばらしい。

（　70 歳代　）

- 今日は文系の先生の話で分かりやすかった。今後も理系と文系をクロスするよ

うなテーマを期待します。

- 静岡県は巨大地震が近く起こるだろうと言われ長くなります。我々の地域でも定期的に避難訓練をやっていますが、マンネリ化してしまい本質の訓練はほとんど行われていない状況です。多様な担い手の台頭をつなぐ防災を実践して、南海地震の発生に備えていくことが重要なことだと感じました。
- 私の地域でも今年から宿泊体験が始まりました。参加していませんが経験することが大切だと改めて感じました。今はマットとか食品も自分で持参なのでなかなか参加しにくいですが、一歩前進だと思っています。12 月に地区で防災訓練がありますが、しっかり真面目に参加したいと思いました。私の所は自主防に女性も参加して会合に出席するなどがんばっています。今まであまり実感していなかった知らなかったことを学べて感謝しています。
- 「ジェンダーから見る現代社会」の講座を大学で受講し始めジェンダーについて、非常に興味があり本日参加させていただきました。防災の面でジェンダーを意識し男性でも女性でもなく人間本来のことを考え対応していく必要があると痛感しました。日常から防災対策をいろいろな立場からしていくことを行政でぜひやってほしい。
- 大変重要な問題で大変参考になりました。